

健康と光線

(株)東京光線療法研究所

からのお知らせ

(株)東京光線療法研究所
代表取締役

宇都宮 光明

更なる発展を期す

常々、サナモア光線療法をご愛用頂き、心より厚くお礼申し上げます。亡父・宇都宮義真が昭和7年に創業した東京光線療法研究所は、ご愛用者各位のお引き立てを賜り、創業77周年を迎えることになりました。この間、サナモア光線療法の原点であり理念である、太陽光線の大恩を享受することでもたらされる自己治癒力の向上について、啓蒙、普及のための活動に一貫して取り組んで参りました。

しかるに昨今、以前にはなかった太陽光線の大恩を軽んずるかのような論調を仄聞します。典型的な例を挙げれば、光線で日焼けをする自然の法則をないがしろにして避ければ、必ずビタミンD欠乏症になりますから、生理機能の低下、延いては自己治癒力の低下を招き、必然的に健康を失うことになる、自然の摂理に則った正論を主張します。この度、(株)東京光線療法研究所は更なる発展を期すため、サナモア光線療法をご愛用頂いている各位に、ご了承賜らなければならぬことがありますのでお知らせします。

はつらつさん

製造事業の移管

「はつらつさん」はこれまでイビデンケミカル(株)に製造事業を委託し、(株)東京光線療法研究所が販売して参りましたが、平成22年7月1日より、事業所、責任技術者とも一括して譲渡を受け、(株)東京光線療法研究所が製造販売することになります。これに伴い事業所名を(株)東京光線療法研究所岐阜事業所に変更します。なお修理等については従前通り岐阜事業所で承りますので、末長くご愛顧賜りますことをお願い申し上げます。

カーボン価格の改定

今般、諸般の事情により、平

成4年4月より据え置いて参りましたカーボン価格を平成22年7月1日より改定させて頂きます。

A・B・C・D (10本入り) 各一箱の改定価格は次の通りです。

カーボン種別	従来価格	改定新価格
IBIサナモアカーボン (1箱10本入り)	2,910円	3,360円 (内消費税160円)
IBIサナモアジョイントカーボン (1箱10本入り)	3,990円	4,410円 (内消費税210円)

現下の厳しい経済状況下にカーボン価格の改定のお知らせをするのは、やむを得ないこととは言え、まことに心苦しく申し訳なく存じますが、苦渋の選択をしなければならなかった事情をご賢察下さり、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なおカーボンはこれまで通り最高品質のイビデン製IBIカーボンで、供給には責任を以って当たりますので、これからも健康増進、病気の治療にご愛用下さいますようお願い申し上げます。

製品の品質保証と 安定供給

(株)東京光線療法研究所は、サナモア光線療法をご愛用頂いている各位のご信頼を得るため、製品の品質保証と安定供給について尚一層の努力を致す所存です。何卒、今回のお知らせについてご寛容の上、これまでと変わらぬご指導、お引き立てを賜りますことをお願い申し上げます。

夏季臨時休業のお知らせ

八月十三日(金)から十六日(月)まで夏季臨時休業致しますので、よろしくお願い申し上げます。

(株)東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

一病息災 一病息災

関節リウマチ

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

関節リウマチは、全身に及ぶ炎症性疾患ですが、特に関節を中心に炎症を起こすため、関節痛や関節の腫れを呈する原因不明の病気で、膠原病の一種です。関節の中でも、肘、手首、手指第二、第三関節、膝、足首、足趾の付け根の関節が傷害されやすく、圧倒的に女性に多く、三十歳から増え、四十歳代が発症のピークとなります。

関節は、骨と骨とのつなぎ目を構成し、スムーズな可動を助けるといった役目を担っていますが、骨と骨のつなぎ目にある袋状の空間は関節腔と呼ばれ、関節包内の滑膜で産生された関節液で満たされています。関節リウマチの初期においては、その滑膜に炎症が起き、滑膜の増殖、関節液の貯留が起きますが、さらに増殖した滑膜は、軟骨や骨を破壊するため、関節は変形することになります。

症 例：58歳、女性。

主 訴：両側の肘関節痛。両側の手指関節の痛みと腫れ。

起始・経過：しばらく前から上記症状を自覚していたため、近医を受診し、精査施行したところ、関節リウマチと診断。以前から使用していたサナモアで治療したいと希望され来院した。

治 療：側臥位にて、全身照射。

腹部(BD)、背部(BD)、膝(AB)、足裏(AB) 20分。

座位にて、部分照射。両側の手指(BD)、両側の肩甲骨(BD) 30分。

経 過：初回の治療終了時から、関節の痛みは軽減。10回目の治療後には、関節の痛みをほとんど認めなくなり、腫れもわずかとなったことから、現在、薬物治療を受けずに経過観察している。

それでは、どのようにして滑膜の炎症が引き起こされるのでしょうか。抗原抗体反応によって異物を無害化する免疫システムにおいて、抗体は、身体の防御には欠かせない存在です。しかし、何らかの原因で、本来、攻撃対象でない自分の身体を攻撃する抗体ができてしまうことがあり(自己免疫疾患)、関節リウマチでは、この制御不能の抗体により、滑膜が攻撃されるのです。実際、その際、血液中に認められる抗体の一種、リウマチ因子は、リウマチ患者の約70%で検出されます。

以下に、関節リウマチの症状(リウマチの診断基準から)を列挙します。

◆朝のこわばり

起床後一時間以上、手がこわばった状態が続く。

◆三か所以上の関節の腫れ

同時に三か所以上の関節が腫れる。

◆手指の関節炎

手指関節の一つ以上の腫れが

持続。

◆対称性の関節の腫れ
左右の関節がほぼ同時期に腫れる。

◆リウマトイド結節

肘、膝などの皮下にできる米粒から親指大の結節。

病気と光線療法

関節リウマチでは、持続する関節の痛みが一番の苦しみですが、病気が長期化した場合には、合併症が全身の諸臓器にまで及ぶことから、痛みのコントロールと合併症の予防といった両面から、治療を考える必要があります。サナモアのもつ消炎鎮痛作用は、関節の痛みを和らげるのに効果的ですし、免疫システムの異常行動の是正にも役立つことから、中長期的に見て、合併症の予防にも役立つものと考えています。

また、初期には、関節痛を主訴とする変形性関節症、痛風、外反母趾等との鑑別が必要なものにご注意下さい。

養成講座に関する記事は次号

開講日程		
	六月二十四日(木)	
	二十五日(金)	
	二十六日(土)	

第十五期 サナモア光線治療師 養成講座

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.41

宇都宮 正範

に掲載します。

第三十三回 「光と熱研究会」 のお知らせ

医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究
会を開催しますので、一般の
愛用者の方も是非ご参加下さい。
なお参加は無料です。

日時：十月二十三日(土)

午後二時三〇分

場所：サナモア光線治療院
三階会議室

治療師紹介

前号に引き続き、私どものサ
ナモア光線治療院に勤めている
光線治療師を、紹介させて頂き
ます(写真)。

山下 サチ子治療師

(平成二十年から在籍)

一言：サナモア光線治療院に勤
め始めてちょうど二年になりま
す。私自身は、知り合いの紹介



東原主任(右)、山下治療師(左)

で勤め始めてからサナモアの事
を知りましたが、サナモア光線
治療師養成講座で学び、現場で
東原主任に指導を受け、実際に

多くの患者の治療に接し学んで
きました。最近では、これまで
の自分の貴重な経験を後盾と
して、患者さんに対して笑顔で
胸を張って接し、時に、励まし
たりできるようにしました。
ここで患者さんの治療に携われ
ていることに感謝するとともに、
一人でも多くの人に、サナモア
光線治療院に来てよかった、ま
た来たいと思われるよう努めて
います。

れて、サナモアを信じて好きに
なり、長く続けられる方と、
二、三回通っただけで止めてし
まう方がいます。せっかく、何
かのご縁でサナモアを知り、来
られた訳ですから、長い目で見
て頂き、サナモアの本当の良
さが分かるまで、頑張っ続けて
欲しいと心より願う次第で
す。
どうぞ、これからもよろしく
お願い申し上げます。

募集

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

治
験
例
報
告

サナモアで

慢性肝炎を治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 〇七八ー三三ー二三五八

症例 45歳 男性 会社員

症状 仕事が忙しく、二か月あまりの残業が続いた後、しばらくして、全身倦怠感を自覚するようになり、胃腸の不快感を認める。ちょうどその頃、会社の健診を受けたところ、血液検査で、肝機能を表す数値(GOT、GPT)が高いことを指摘され専門医を紹介された。精密検査の結果、ウイルス性の慢性肝炎と診断されたが、ウイルスの活動性は弱いたので、食生活を含めた生活習慣の改善で様子を見るように説明された。そこで十年以上に購入し、最近では、主に妻と子供が使用しているサナモアで治療しようと考え来所した。

療法経過 治療は初めにBDカー

ボンで、集光器を使用し、右上腹部肝を前方から30分、側面から20分照射。その後、腰部を30分、腹部全体を30分照射し、ABカーボンで、足裏を20分、ふくらはぎを20分、膝を10分照射した。自宅での治療は、時間

が許す限り、上腹部を中心に、一日に二回以上は照射するように指示。治療を開始してから二か月後の定期検査の結果、GOT、GPTの値は正常範囲にまで低下しており、肝機能の改善が通常より早いと、担当医から説明を受けた。最初に診断されたから、懸命に生活習慣の改善に心がけてきたが、サナモアを毎日行ってきた賜物と感謝しており、これからも、油断せず、健康管理に注意を払いながら、サナモアを継続すると話している。

治
験
例
報
告

慢性C型肝炎をサナモアと

インターフェロンで治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九一 五八一〇三九
五七二一五七三

症例 63歳 女性

症状 現在、慢性C型肝炎で通院加療中の患者。サナモアを併用すると、病院での血液検査の結果がよいとのことで、これか

らは、積極的にサナモアを併用していきたいと相談を受けた。
療法経過 ADカーボンで、腹部全体を30分と、右上腹部(肝)を、前方、後方、側方の三方よ

全自動光線治療器

はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきました。この点を改良したのが全

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントでさるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

＊

なお、はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

り照射すること。特に、前方からの照射については、自分の体調の許す限り、長時間行うように指示。さらに、BCカーボンで、足裏、膝、腰部を30分ずつ照射すること、栄養面についても、良質のたんぱく質を摂取するように話した。その後頂いた報告では、最初の医師のインターフェロンによる治療計画通りに、一年経過した時点で、血液中から肝炎ウイルスは消失していたとのこと。念のため、半年間、延長してインターフェロンを投与したが、現状で、再燃もなく、良好に経過しているとの嬉しい連絡であった。ご本人は、サナモアを併用したお蔭と大変喜ばれ、今後も、サナモアを継続すると話している。

サナモア 光線療法 愛用者の声

私の大切なペットに

サナモアを使っています

東京都 守随 菜保美様

実は、最近、わが家で一番サナモアを使用しているのは、大切なペット、リスザルなんです。約二年前、胸に水がたまり、骨がやせ細って、体力を消耗し、病院では、半年くらいしかもたないと死の宣告を受けたのですが、冬の間、外出できないため、自宅でサナモアの照射を始めたところ、すっかり元気を取り戻しました。今では、曲がっていた背骨が嘘のようにまっすぐになり、家の中を、わが物顔で飛び回り、ペットの方から催促し、うれしそうにサナモアに当たっ

ております。

治療器の修理と合わせて、本当に、ありがとうございました。

8

今回頂戴した貴重なお便りから、やはりヒトを含めた生き物にとって、太陽光線は欠かすことができないものであることを再認識させて頂いたと思います。このペットの場合、骨がやせ細った状態にあったと指摘されていますが、おそらく日光に当たるのが不十分で、ビタミンD不足を引き起こし、ヒトのくる病や骨軟化症のような病態に陥っていたものと推測されます。

ですから、サナモア照射で、ビタミンDの産生が促され、骨を丈夫にし、元気に飛びまわれるまでに回復することができたでしょう。そして何より、そのことを本能的に理解したペットが、生きるためにはサナモアが必要であることを悟り、サナモアを催促するようになったことには、ただただ、感心させられるばかりです。

しかしながら、このようなことは、私たちの人間社会においても、実際に起こっていることで

す。特に肌の色の濃い人種の人達が、北欧など日照の弱い国に移住した際、生まれた子供の歯や骨の発育が悪く、ビタミンDの補充を受けて回復するケースが散見され、報告されています。日本においても、極端に日光を遠ざけるような生活スタイルが定着すると、骨を弱くするばかりでなく、様々な病気の引き金になってしまつことに、そろそろ気がついてよいのではないのでしょうか。

(宇都宮正範 記)

サナモア体験記募集

サナモア光線協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：sanamore@hr.catv.ne.jp



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、

一、季刊紙、「健康と光線」の発行

二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。

また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三―五二八―
三七二一―五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)